一般社団法人　日本アマチュア無線連盟

胆振日高支部報

2023-12-12 発行
発行責任者
JARL 胆振日高支部長
JA8PMN　小林　敏哉
ja8pmn@jarl.com

第48回　胆振日高支部大会　開催

10 月 22 日(日)、苫小牧市民活動センターにおいて第 48 回胆振日高支部大会が開催されました。当日は、JARL 北海道地方本部長 正村琢磨様、北海道地方選出社員の斉藤恵子様、原田進様、大國秀夫様をはじめとして、胆振日高管内のアマチュア局が一堂に集い、この 1 年間の報告と計画を話し合いました。

さらに FM とまこまい局長の二瓶竜紀様に「防災における FM 放送とハムの役割」と題して講演をいただき、2018 年の北海道胆振東部地震をはじめとし、災害の多い当地の現状と対策について交流が持てました。また、小林支部長が、「制度改正の要点と免許申請について」と題して、9 月 25 日以降改正された免許申請の概要と、再免許の記入の仕方の説明を行いました。

JH8HLU 正村北海道本部長の挨拶

HF 電信マルチバンド部門優勝　中野氏

社団局電信電話マルチバンド優勝　追分 AMC

講演をしていただいた二瓶氏

バンドプランが変わりました

9 月 25 日告示施行に伴い、アマチュア局のバンドプランが変更になりました。すでに、JARL NEWS、CQ ham radio 誌などでご存じの方も多いと思いますが、今まで「狭帯域の電話・画像」と表示されていた部分が「狭帯域の全電波型式」等に変更されたことを中心に、大幅に簡素化されました。

7MHz を例に挙げますと、7000-7030KHz が CW、7030-7200KHz が狭帯域の全全波形式となりました。今まで 7076KHz の FT8 の利用に関して外国局とのみ可能でしたが、今後は国内局との交信も法令違反とならずに済むようになっています。

144MHz 帯に関しては、あまり変わっておらず、広帯域の電話・電信・画像（いわゆる FM など）は、144.70-145.65MHz です。バンドエッジでは側波帯がはみ出す関係で、F3E を利用する（ハンディやモービル局など）場合は、144.72-145.64MHz を利用することになります。

今回の改正とは関係ありませんが、移動運用の際、警察官から無線従事者免許証の提示を求められたという話をよく聞きます。正確には、無線従事者はその業務に従事しているときは、免許証を携帯していなければならないとなっています。（電波法施行規則第 38 条）

TSS 保証業務終了・JARD 保証料値上げ

JARL NEWS 、hamlife.jp によりますと、株式会社 TSS が来年 3 月 31 日でアマチュア無線局の保証業務を終了するとのことです。また、JARL については、来年 4 月 1 日から保証認定料の値上げを予定していると発表されました。

現在、国内のメーカーから販売されているアマチュア無線機器については、全て技術基準適合証明を取得しており、TSS/JARD の保証を受けることなく、総合電気通信局へ届を出すことで免許されます。電子申請であれば、リグの購入後数日で利用可能となるわけです。

しかし、古い無線機（新技術基準認定以前の無線機）や外国製の無線機、自作の無線機などは、TSS/JARD の保証を受けることで簡易に利用することができます。そのための保証認定だったのですが、新技適機への移行が進んだことと、保証認定数が当初よりも減ってきたこともあり、上記のようなことになったようです。

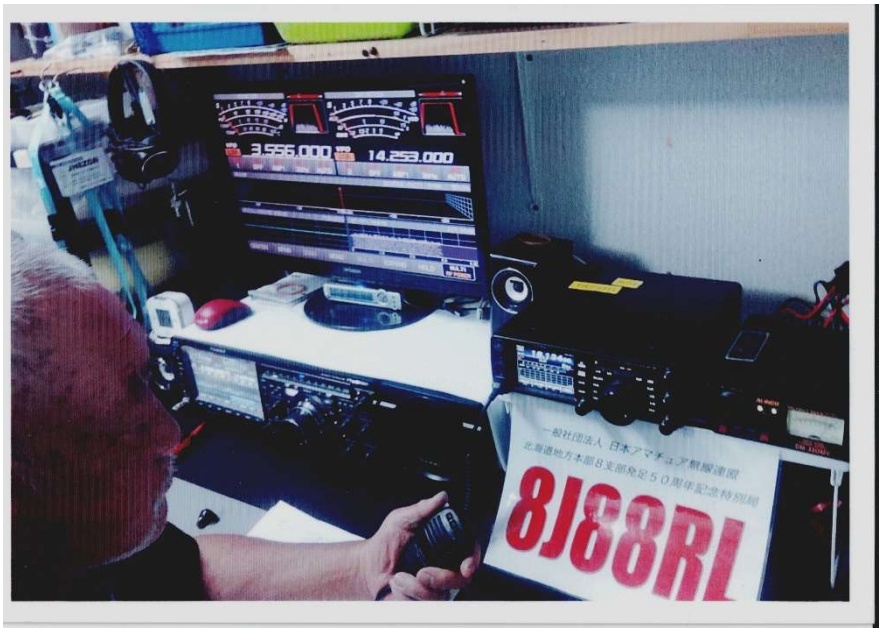
もし、まだ申請していない古いリグを今後も使おうと考えている方がいらっしゃいましたら、なるべく早めに上記の保証認定を受けると、いくらか安価に利用できるかと思います。

JARL北海道8支部発足50周年 記念局 登別で運用

1973 年（昭和 48 年）にそれまで JARL の北海道支部は 1 つだったものを、会員の交流を進めるためにもあまりに広い地域を分割してほしいという要求で、北海道は 8 つの支部に分かれることになりました。それが、今年ちょうど 50 年ということで、その一環として JARL 北海道 8 支部発足 50 周年記念局 8J88RL の運用を行いました。

胆振日高管内では、登別の JG8DWK 伊藤清隆さんにお願いし、6/30～7/12 に渡って運用していただきました。およそ 500 局の運用を HF～430MHz の各バンドで行い PR 出来たのかと思います。

来年度についても、いわゆる記念局の運用があった場合は、出来るだけ管内の会員にお願いしたいと考えています。リグは北海道本部・胆振日高支部で用意し、アンテナを借りる形になります。その都度、支部 HP、メールで希望を募りますので、ぜひ奮って応募ください。なお、応募者多数の場合は、なるべく過去に運用を行っていない地域を優先させていただきます。



第 16 回胆振日高ニューイヤー2m コンテスト規約

日時	令和 6 年 1 月 2 日(火) 09:00～1 月 3 日(水)21:00 まで
参加資格	胆振日高管内居住のアマチュア無線局(個人局のみ)
使用周波数	144MHz 帯　電信/電話(SSB,FM)　※JARL 制定のコンテスト周波数厳守
交信相手	日本国内のアマチュア局(個人局のみ)
呼出	○電話「CQ ニューイヤーパーティー」 ○電信「CQ NYP」
コンテストナンバー	RS(T)+名前(JARL 主催のニューイヤーQSO パーティーに準じる)
禁止事項	○クロスバンドによる交信　○個人局の 2 波以上の電波の同時発射　○レピータによる交信　○インターネット回線を中継して行った交信　○個人局でのゲストオペレータによる交信　※常置場所と移動先の 2 地点運用を認める　※移動先は北海道内
参加部門	○個人局電話 ○個人局電信　※クラブ所属の参加者はサマリーシートに所属クラブ名を記入
得点	国内のアマチュア局との完全な交信を 1 点
総得点	得点の合計　※クラブ対抗の総得点:総得点×クラブ総参加人数
提出書類	○JARL 制定のサマリー、ログまたは同形式のものを使用（A4 判）　○電子ログの提出にあっては JARL 制定様式を使用　○コンテスト名称は「胆振日高ニューイヤー2m コンテスト」と記入　○参加部門及び種目の名称は次のように記入　・名称欄に参加した種目の名称をはっきり記入　・クラブ所属の参加者はサマリーシートに所属クラブ名を記入
失格事項	○提出書類の不備　○虚偽の申告があった場合　○複数部門への参加 ○書類締切後の到着　○その他 JARL コンテストに準じる
入賞	○各種目との参加局数に応じて賞状を発行し、翌年の支部大会で表彰する ○参加 5 局以下 : 1 位のみ　6 局から 10 局 : 2 位まで　10 局を超えた場合 : 3 位まで ○提出されたサマリーシート記載のクラブ名ごとに総得点を集計し、順位を計上したうえで同様に表彰する。
書類提出締切	令和 6 年 1 月 31 日 23:59 のタイムスタンプまで。
書類提出先	○〒055-0004　沙流郡日高町富川東 5-23-7　ＪＡ８ＰＭＮ　小林　敏哉 ○電子ログ：ja8pmn@jarl.com

各局短信

○昨年の JARL ニュースでは、会員増加があり夢のある話題が出てましたが、支部大会にも高校生、高専生が来なくなり残念です。(ここ数年)　私は、初心に帰り、義務的に毎日オンエアーしてます。出来れば、和文電信等にもチャレンジしたいと思います。(JA8DOB 井澤廣一郎)

○ジャンクプレゼントで YAESU FR-100B が当たりました。うちの受信機はオール真空管のものが 1 台もなく、一応主要な真空管や測定器は揃っていますので、フル調整にチャレンジします。ラジオ周波数帯へのダウンバーターの回路図ありませんか？(JL8DJS 金澤義也)

○QEX Japan を読みながら、カウンターポイズについて改めて勉強し直しています。YouTube を見ると、いろいろな方がマンションのベランダでモービルアンテナや釣り竿アンテナで運用するために、5m くらいの複数の電線を広げたものから、1/4λ の電線をきちんと数本張ったものまで、いろいろなものが見られます。電波が「乗る」と「飛ぶ」の違いを考えながら、我が家の環境に最適なカウンターポイズはどうあるべきかと奥が深いテーマです。(JA8PMN 小林敏哉)

支部からのお願い

先日、北海道本部選出社員と各支部長との懇談会で、各支部とも役員のなり手がいないという話題が出ました。胆振日高支部も同様な悩みを抱えています。ぜひ、やってみたいという方がいらっしゃいましたらメールをいただきたいと思います。ハム歴も年齢も一切関係ありません。また、こういうことをやったらどうだろうというアイデアも募集しています。よろしくお願いします。

【編集後記】

今年も支部報が発行できてほっとしています。

今年は 9 月に北海道ハムフェアを開催でき、支部大会以外でも何人かの方たちとアイボールできました。ブースを構え、自分たちの活動を PR している方々の熱意を感じ、まだまだアマチュア無線には新しい魅力があると感じた次第です。

あとわずかで今年も終わります。1 月になればニューイヤーパーティで、みなさんとお空の上でお会いできることを楽しみにしています。